cross care NEWS vol.19

2024.07

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトに実際にご参加頂いている施設職員さんにインタビューを行い、リアルな声を隔月発行にてお届けしています。普段はなかなか聞くことのできない、ゼロプロの舞台裏をぜひお楽しみください。

interview

にじの森歯科クリニックさま

歯科としてゼロプロに参加しようと思ったきっかけは？

丸田　ちょうど、か強診（かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所）の認定をとりたいと考えていたときにゼロプロのことを知って、**歯科医療的な価値の大きさ**に必要性を感じました。**地域医療**について考え、訪問診療の重要性を実感したタイミングだったんです。院内セミナーの開催で、歯科衛生士をはじめ**「クリニック全体で共感できた」**と感じた点がプロジェクト参加の決め手になったと思っています。おもしろくてアツいセミナーでした。

鬼塚　瀧内先生のセミナーは、パンチがありましたね。何枚か鮮明に思い出せるスライドもあります。

実際にゼロプロに携わってみていかがですか？

鬼塚　これまで訪問診療に携わったことがなかったので、知らない世界に飛び込んだ気持ちです。普段、外来診療で関わる方はご自身で歯みがきをされているので優しく磨きますが、**バイオフィルムを取り除くための口腔ケア**はある程度力を加えないといけないので、初めは戸惑いました。また、介護職のみなさんの忙しさを目の当たりにし、**限られた時間で口腔ケアを行う**ことを想定して、施設側にメリットが増やせるよう心がけています。

丸田　ゼロプロを通じて施設に訪問することにより、歯科衛生士の意識も変わってきたと感じています。外来診療に自ら来ることができるのは、70代くらいまでという認識なのですが、**歯科に通うことができなくなった先も人生はあるし、その「先」を想定して治療**に当たれるようになったと感じています。マタニティ診療も行っているので、今では1歳～106歳の幅広い年齢層を診る機会があり、そのことが意識の変化につながっていると感じています。

マネージャー
鬼塚さん

丸田院長

想いを継続できている秘訣は？

丸田　難しい手順を要求されると継続は厳しいと思うので、**ゼロプロ式口腔ケア自体がシンプルでわかりやすいもの**であることが理由の一つかなと思います。施設へ訪問する歯科衛生士を、訪問診療の経験者から立候補で決めたことも想いを継続させる要因になっていると思っています。

鬼塚　**コミュニケーションの大切さを実感しています。**ゼロプロを通して関わっている施設のみなさんは熱心に取り組まれているので、たくさん質問してくださるんですよね。時々「口がとても乾燥している方のお口の中に、油を塗ったら良くなりますか」などご質問いただいて、驚かされることもあるのですが、そういうやりとりも含めてコミュニケーションって大事だなと感じています。**「誤嚥性肺炎を減らしたい」というみなさんの想い**を継続させるためにも、こちからの介護職員さんへの声掛けを大切にして、カバーできる部分はお手伝いさせていただきたいと思いながら、携わらせていただいています。

information

第３回ゼロプロアワードを開催いたしました

7月18日（木）、第３回ゼロプロアワード発表をオンラインにて開催しました。各部門にて順位ごとに点数化し、総合グランプリは、大分県由布市の**社会福祉法人若山会特別養護老人ホーム若葉苑**に決定いたしました。おめでとうございます！さらに、今年はオフラインでの表彰式を予定しております。食支援セミナーも開催予定です。ぜひご参加ください！

若葉苑施設長さんよりコメント

ゼロプロのように科学的な根拠に基づいてできる介護は珍しく、重要性が高いです。業務負担軽減のために今後も頑張っていきたいと思っています。介護現場を変えていきたいです！

編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の vol.19 では、歯科として携わっていただいているにじの森歯科のお二人にお話をお伺いしました。訪問歯科には訪問範囲があり、福岡から離れている熊本での取り組みになります。患者さんとして関わる年齢層の幅が広がることにより意識が変わるお話が興味深かったです。　2024 年 7 月　川谷

＼check!!／

公式 LINE、instagram、YouTube にて情報を発信しています。

SNS

株式会社 クロスケアデンタル
編集担当：川谷
お問合せ：092-986-9600
info@crosscare-dental.jp